

医療法人 啓仁会

法人本部

(埼玉県所沢市)

専務理事 富島 隆裕

新年明けましておめでとうございます。



医療・福祉を取り囲む環境は、いわゆる2025年問題を見据えて非常に重要な局面を迎えます。

埼玉県所沢市を中心に宮城県石巻市から愛知県豊川市まで拡大してきた啓仁会にとっても、グループのワムタウン構想の構築において新たな出発を迎えなくてはならないと考えます。

今まで培ってきた強みと、今後を見据えた新たな試みと習得の積み重ねをしっかりとした戦略のもと進めていくことは、患者様はもとよりグループ職員の幸せと安心のためにも非常に重要なことです。地に足をつけて正しい歩みができるよう法人本部も新たな出発を誓いますので、何卒今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

常務理事 秋元 孝則

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



東日本大震災から3年が経過してきています。被災地は、まだまだ再建の途上であり、漸く再建計画のほんの一部分の取りまとめが完了し、復興住宅の建築に着手し始めようとしている状況です。

昨年は、東京都三鷹市に、介護老人保健施設を4月に開設し、訪問看護事業所とともに、介護事業を開始しました。また、石巻口イヤル病院(宮城県石巻市)では、

9月に、東日本大震災で傷んでいた建物2棟を取り壊し、120床の病床を持つ新病棟の建築工事に着手しました。

東京都武蔵野市において、平成20年6月から運営していた「わかばクリニック・通所リハビリテーション」を、11月末を以て閉鎖し、武蔵野・三鷹地区の事業の整理統合を実施いたしました。

今年、豊川さくら病院(愛知県豊川市)の回復期リハビリテーション病棟の機能充実を図るために、機能訓練室の増築を実施します。また、石巻口イヤル病院では、新病棟が10月に竣工し、230床の病院としての運営を開始します。

4月には、診療報酬・介護報酬の改定が実施されますが、国は、年々増加する社会保障費が、財政に大きな影響を及ぼすことを危惧し、前回の改定のようなプラス改定は望めない状況となっており、更に、消費税が8%に改定されることから、今年も厳しい運営を強いられることになるでしょう。厚生労働省は、医療・介護の分野では、病床の機能分化・連携・在宅医療の推進・地域包括ケアシステムの構築を推進し、医療・介護サービスの提供体制改革を推進し、発症から入院・回復期(リハビリ)・退院までの流れをスムーズにし、早期の在宅・社会復帰を可能にし、地域での生活を継続的に支え、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる環境づくりに推進してまいります。

私どもの、ワム・タウンづくりも、地域で役割を分担し、医療と介護を有機的・複合的な形で提供することを目指しており、地域から求められる役割を果たせる努力が続けたいと考えております。

所沢口イヤル病院

(埼玉県所沢市)

院長 大久保 清一郎

明けましておめでとうございます。



新しい年が明けましたが、今年度は2年に一度の診療報酬改定の年です。高齢者人口がピークになる2025年を見据えての改定となりますが、医療提供体制の再構築や、地域包括ケアシステムの構築が最重要課題として検討されています。病棟の医療機能の明確化については、当院はこれまでと同様、慢性期、回復期リハのみならず、関連施設や在宅療養中での軽度な急性病変についても積極的に関わってまいります。また、在宅医療をサポートするための訪問診療も昨年に引き続き拡充してまいります。長年にわたって担ってきた高齢者医療に対する自負もつて、今年も回復期リハを含めた、高齢者への質の高い医療サービスを地域の皆様と協力しながら進めてまいります。

平沢記念病院 (埼玉県所沢市) 院長 平澤 秀人

謹賀新年



私は所謂団塊世代の一人です。数年前アラフォー(around 40)が流行語大賞に選ばれたとき、そのアラフォーに對抗して我々団塊世代は昔懐かしい鞍馬天狗の役者風寛寿郎の愛称をもちつて自らを「アラカン(around 還暦)」と呼び、存在感を誇示しました。我々アラカンも2015年には前期高齢者、そして2025年には後期高齢者になります。団塊世代は約800万人もおりますので、医療費や社会保障などの負担が莫大になるため「2025年問題」と言われ、アラカンは「問題爺」とな

り肩身の狭い思いです。今年65歳の太台に乗る私は、さらに厳しくなる医療情勢の中でもう一踏ん張りするか、年金アラカンの仲間たちとゆっくりするか考える年になりそうです。

平成クリニック (埼玉県所沢市) 院長 構木 睦男



「うつ病」も「不景気」も英語・独語では同じデプレッション

アベノミクスは支持しませんが、景気の低迷が人心に与える影響は深刻です。戦後の復興期から停滞下降期が長期化した為に、何かと気が萎縮して、希望が持てない気が支配的で、特に若人は悲観的な心性が基本基調になっていきます。実に大志が抱けません。不景気とうつ病は確かに関係がありますが、下降期にハイになれば逆に困ります。気が景気に上手に適應しているとも言えます。さらに気持の停滞が景気の停滞を強め、悪循環になります。お金持ちの年配者が身内の若者にもドンドン投資して、気持だけでも上向きになると景気回復も困難ではないと年の初めに夢想します。

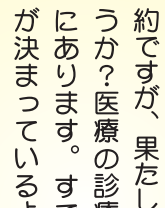
介護老人保健施設 所沢口イヤルの丘 (埼玉県所沢市) 施設長 鷲塚 誠



新年明けましておめでとうございます。昨年の一番のニュースは、東日本大震災の被災地に元氣と勇氣をもたらしたと思います。それにしても復興の遅れが気になります。政治とはどうしていつもこうなのでしょうか？義援金などは、まだまだ残っているはずですが、早く解

決することを祈るばかりです。もうひとつ盛り上がったのは、2020年のオリンピックの東京開催の決定でしょうか。しかし、猪瀬前東京都知事の徳州会からの5000万円受領問題で味噌をつきましたね。東京開催は大丈夫なのでしょうか？いつの時代でも政治とお金の問題は解決しませんね。さて、今年消費増税があります。増税分は社会保障費に回すとの公約ですが、果たして守られるでしょうか？医療の診療報酬改定が来年にあります。すでにマイナス回答が決まっているようです。介護保険改革は15年度から実施されます。所得が一定以上の人の利用者負担を1割から2割に引き上げ、介護の必要度が低い「要支援」向けサービスを部分的に市町村事業に移管、などが柱です。果たしてこれいのでしょうか？はなはだ疑問です。まだまだ解決にはほど遠いです。

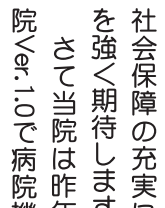
平成の森・川島病院 (埼玉県川島町) 院長 坂井 誠



新年のご挨拶

今年も昨年同様に皆さまの御支援をお願いします。

象、自然災害や国内外に大きな出来事がありましたが、今年是非平穏な年であって欲しいものです。いよいよ4月に消費増税が行われますが、医療・社会保障の充実が充てられることを強く期待します。



さて当院は昨年9月に慢性期病院Ver.1.0で病院機能評価2度目の更新認定を受けることができました。ご指導、ご協力いただきまして皆様方には改めて感謝申し上げます。安心・安全、信頼の得られる医療サービスを提供するために、医療の質の向上を意識した日々の業務を継続する大切さを実感い

たしました。今年も高齢者の〇〇を重視した医療・看護・介護、チーム医療の実践、地域社会との連携を3本柱として職員一同邁進しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 平成の森 (埼玉県川島町) 施設長 井上 勇



新年あけましておめでとうございます。昨年連続する異常気象で台風や竜巻により大きな被害が内外問わず発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

中国における大気汚染は深刻化していますが国内においても原発廃炉、汚染水処理問題など多くの課題が山積されています。一方、東京オリンピックの開催決定や富士山の世界遺産登録など明るいニュースもありましたし、楽天が日本シリーズを制し、東北の多くの被災者に夢と希望をもたらしてくれました。今、私達にはアベノミクスによる景気上向きが実感できない中、いよいよ消費増税が実施されます。更なる医療と福祉の財政基盤を固めて頂きたいと願うばかりですが政府は増税による社会保障の充実をつたいつつも、介護保険の分野では要支援者の切り離しや一定所得者の2割負担など相反する政策が語られております。先行きは尚不透明ではありますが、如何なる状況下にあっても利用者様の意向を第一に考え、当施設が地域福祉の中核を支え続けることができるよう職員一同邁進してまいります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

